

2/16

誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」へ 地域セーフティネットフォーラム

「地域セーフティネットフォーラム」がいきいき元気館で開催され、福祉関係者らが地域連携の在り方や、地域共生社会の実現について理解を深めました。

「今、求められている地域共生社会づくりとは？」と題して、富山県福祉カレッジの大橋謙策学長が講演。地域住民から福祉に関する相談や情報提供を受け付ける「地域なんでも相談」の取り組みについて女良・神代・朝日丘地区の代表者らが事例を報告しました。

また、フォーラムに先立ち、社会福祉協議会会長表彰も行われ、社会福祉で功績のあった14個人1団体が表彰されました。



2/20

座りすぎが健康寿命を縮める?! 健康づくり講演会

健康づくり講演会がいきいき元気館で開催され、早稲田大学スポーツ科学学術院の岡浩一朗教授が「座りすぎ」と健康寿命の関係について説明しました。

これは、平成31年1月に市と早稲田大学スポーツ科学学術院、森永製菓株式会社が結んだ「住民の健康づくりの推進」に関する産学官包括協定の連携事業の一環として行われたものです。

岡教授が「座りすぎ」が体に与える影響と、その改善法について紹介すると、約170人の市民は熱心に聴き入りました。



2/21

ぶり奨学プログラムのために ご寄付をいただきました

氷見伏木信用金庫から、ぶり奨学プログラムのために20万円を寄付していただきました。

これは、氷見伏木信用金庫が昨年9月から販売した「ぶり奨学定期預金」の販売目標である20億円を達成したことによるものです。

藤井理事長は「地方創生にとって大事な取り組み。来年度以降も継続したい」とあいさつし、林市長は「一人でも多く氷見に戻ってきてもらえるよう活用したい」とお礼を述べました。



2/22

未来のエネルギーを考える 氷見市エネルギーフォーラム

氷見市エネルギーフォーラムがいきいき元気館で開催され、市の取り組みや、未来のエネルギーについて市民や関係者らが理解を深めました。

市は、太陽光発電と電力制御システムを組み合わせたエネルギー構造高度化実証事業で、需要電力量の削減効果が出ていることや、今後北陸電力㈱などと共同でエネルギー会社設立を目指していることを説明しました。

その後、(株)JTB コミュニケーションデザインの黒岩隆之さんが、再生エネルギーなどのエネルギー改革が地域社会に及ぼす影響を事例を交えて紹介しました。

2/27

金沢医科大学氷見市民病院に 介護予防マッサージ器具寄付

日東工器㈱から、介護予防のためにエアーマッサージ器を寄付していただきました。

日東工器㈱の創業者である代表取締役の御器谷俊雄会長は高岡市出身。富山県を代表する実業家であり、氷見市と中国浙江省寧海県が友好交流協定の締結を進めていることに関心を抱かれたことによるものです。

今後、金沢医科大学氷見市民病院のリハビリテーションセンターに配置され、利用者の介護予防などに活用されます。

